

平成 16 年(ネ)第 2435 号 損害賠償請求事件

控訴人 竹下勇子

被控訴人 静岡市 外 1 名

2006 (平成 18) 年 4 月 24 日

控訴人訴訟代理人 弁護士 渡 邊 彰 悟
同 福 地 直 樹

東京高等裁判所 第 5 民事部 御中

弁論再開申立補充書(2)

本書面は、弁論再開申立申立書に記載した事項中、本件事件の経過と、1 年かけて核 DNA を解析できず技術不足を認めて謝罪した保土ヶ谷事件並びに太田弁護士がティーエスエルに問い合わせた鑑定を断わられたことの経過を表にし、本件における鑑定についてティーエスエルが鑑定人として適格性を喪失していたことを理解してもらうためのものです。

日 付	本件の経過	保土ヶ谷事件	太田弁護士の事件
2004 年 4 月 21 日		ティーエスエルが核 DNA 型解析の鑑定受任	
2004 年 7 月 21 日	控訴理由書(1)及び(2)を提出 同日付にて「鑑定申請書」を提出	↓ 鑑定中	
8 月 2 日	進行協議 TSL 出席		
9 月 7 日	同上 裁判所が選任した TSL の小林氏及び神山氏が同席のうえ、鑑定資料、鑑定方法	↓ 鑑定中	

	(手法) について, 具体的な協議		
10月12日	進行協議		
10月27日	同上		
11月26日	同上		
12月7日	同上 複数鑑定を希望した ため防衛医大を裁判 所が推薦し、向田教 授から鑑定技量を聞 いた	↓ 鑑定中	
12月24日	同上 裁判所「1番目に断 われたのは帝京大」双方が防衛医大 を断わり、TSL 単独 に決定	↓ 鑑定中	
2005年1月18日	同上 TSL・神山清文鑑定 人宣誓	↓ 鑑定中	
2005年2月9日	ティーエスエル社に おいて、パラフィン 包埋資料の薄切を実 施	↓ 鑑定中	
2005年4月5日	TSL 進捗状況 (裁判 所からファックス) 「ミトコンドリア DNA 増幅中。検出は 確認されていない」	技術不足を認めて 関係者に陳謝 (神 山鑑定人) ↑ 適格性の喪失	
2005年5月11日	TSL 進捗状況及び鑑 定進行に関する意向 聴取について 「ミトコンドリア DNA 検出できず。 STR については DNA が検出できた		

	ようです。スライド標本について鑑定をどうするか」		
2005年5月30日	TSL 途中経過報告 「ミトコンドリアDNA 検出できず、STR 解析できた」 「途中でSTR結果を裁判所へ伝え、協議していて遅れた」		
2005年6月14日			ティーエスエルに電話をして鑑定依頼→ティーエスエルは拒否 ↑ 不適合性を自認
2005年6月24日	控訴人から鑑定中止を求める意見書提出		
2005年6月29日	同上補充提出		
2005年7月11日	裁判所決定「TSL 鑑定続行、鑑定書作成・提出を求める」		
2005年8月31日	TSL 鑑定書完成		